両岸地域の付加価値向上のための官民連携に関する提言

2023年2月20日

JAPIC　国土・未来プロジェクト研究会
下関北九州道路WG委員

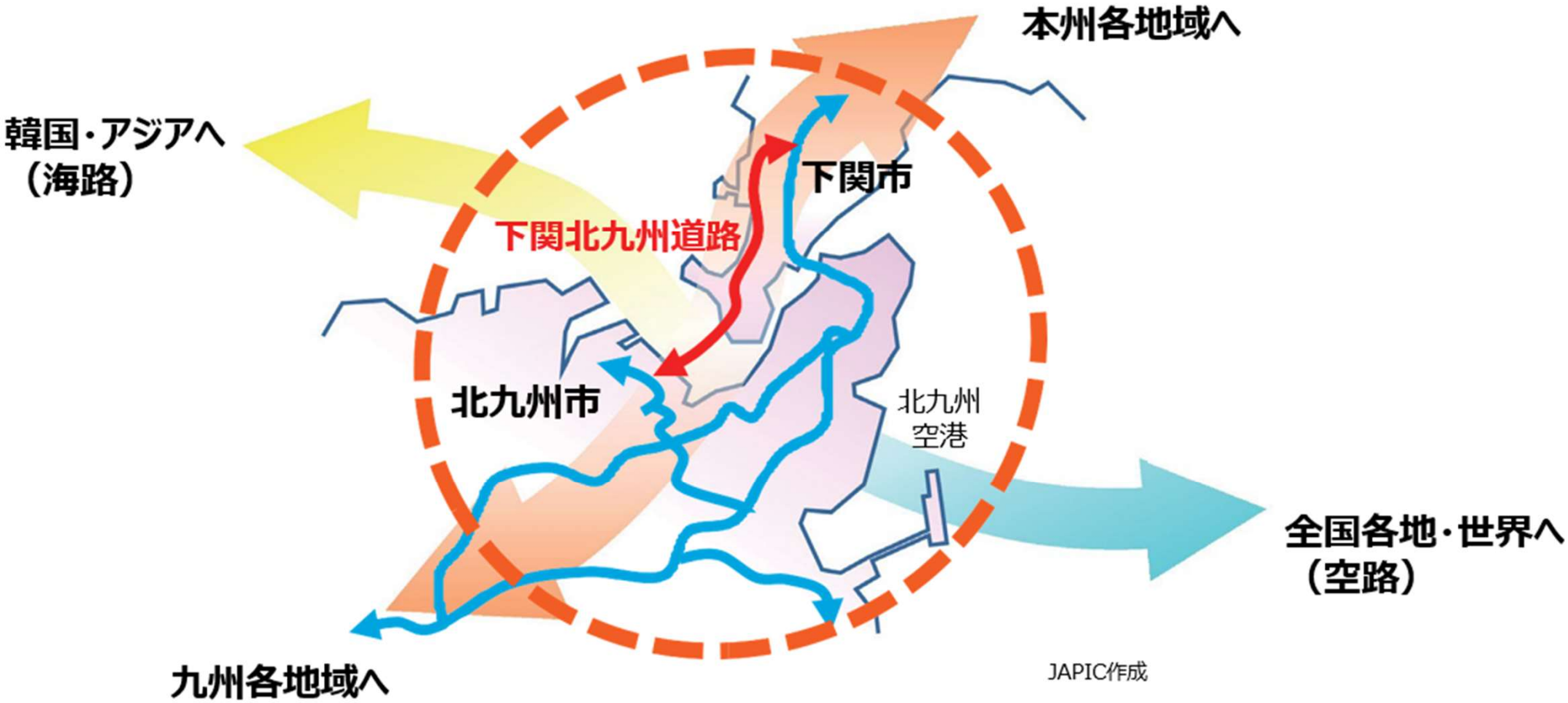
下長　右二

（ﾊﾟｼﾌｨｯｸｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ 執行役員 社会ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事業本部長）

Japan Project-Industry Council

【提言①. 両岸接続地域の高付加価値化】

○ 下関と北九州の「新たな歴史への架け橋」として、「人流」と「物流」の両面でのつながりと一体性を強化し、両地域の付加価値を向上する。



【提言③. 官民連携による新たな枠組みの導入による事業推進】

○ 事業推進にあたっては、官民連携による新たな枠組みの導入を進めるべき

Ⅰ 官民連携による資金確保

Ⅱ 維持管理へのPPP／PFIの導入

Ⅲ 橋梁インフラの観光資源化

Ⅳ 地域価値向上

Ⅳ 地域価値向上

多様な官民連携プロジェクトを

両岸接続エリアで連鎖的に実施し、

下関北九州道路による

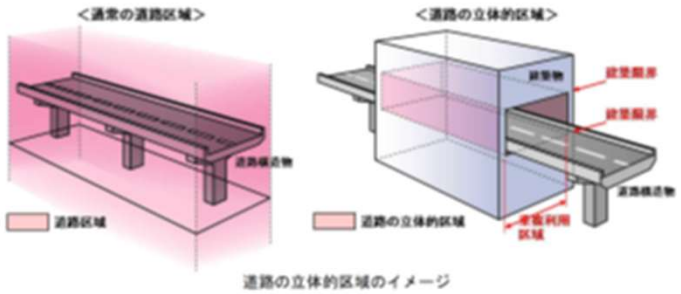
地域価値向上の最大化を図るべき！

Ⅳ 地域価値向上

北九州エリア　～新たな物流・交流拠点～

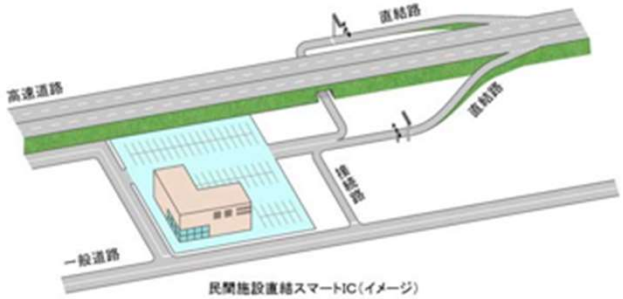
立体道路と直結スマートICによる
高速道路直結の新たな物流・交通拠点施設整備！

立体道路

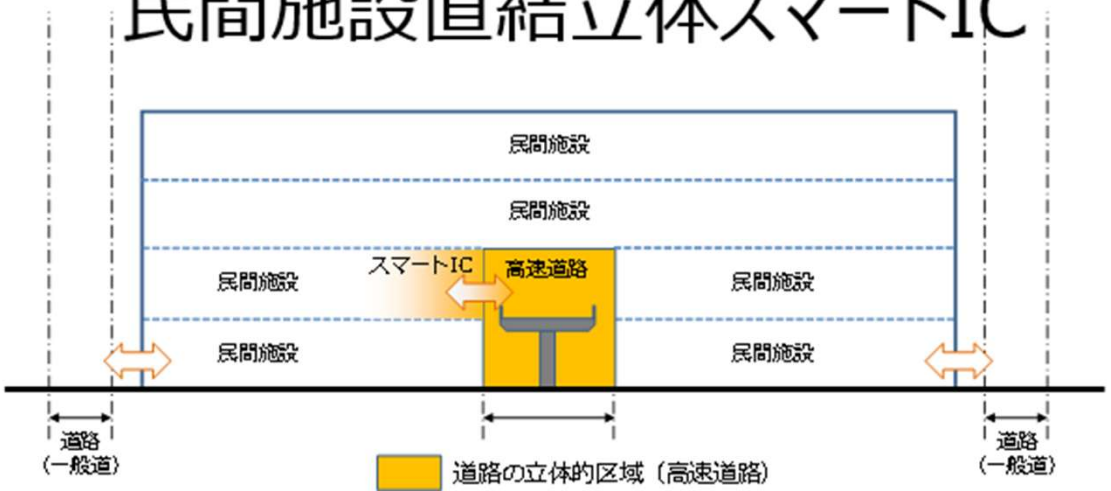


道路の立体的区域のイメージ

民間施設直結スマートIC



民間施設直結立体スマートIC



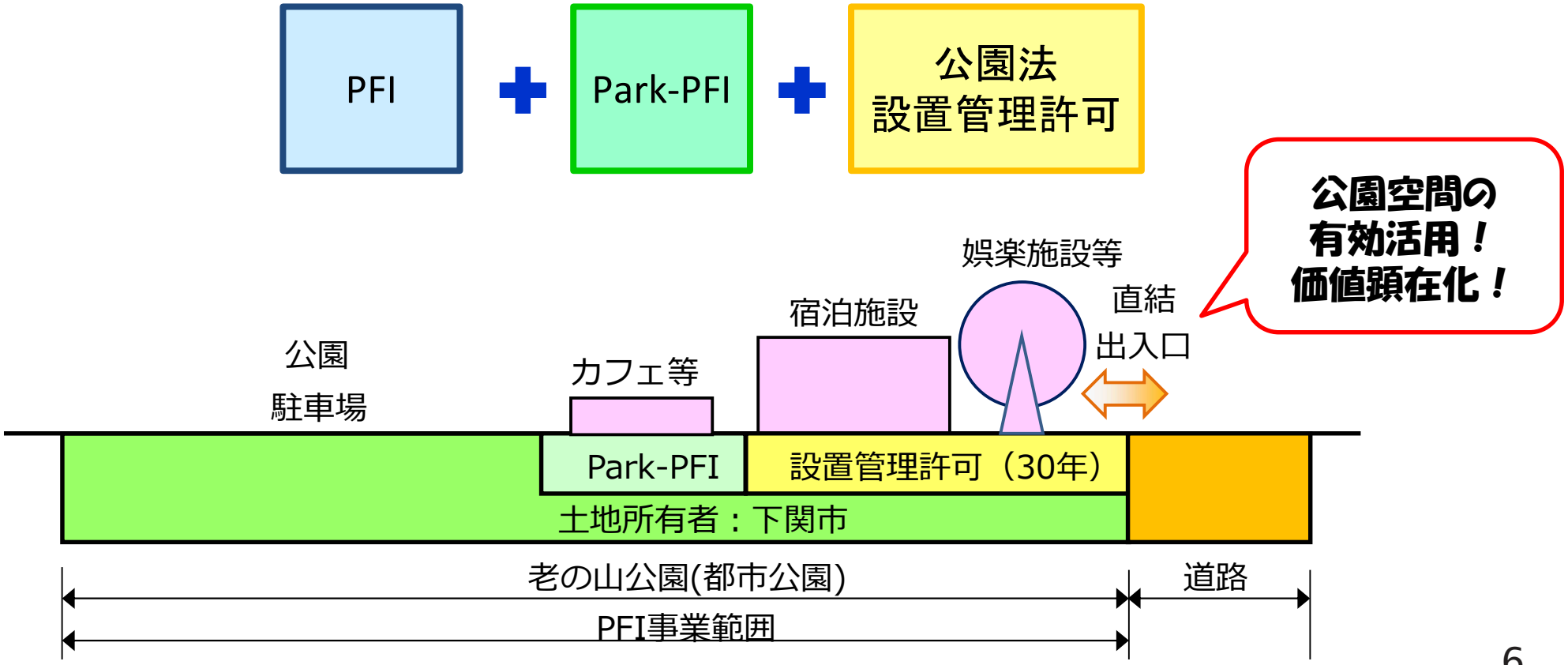
道路空間の有効活用！価値顕在化！

3. プロジェクトへの提言

Ⅳ 地域価値向上

下関エリア　～老の山公園Park-PFI～

Park-PFI等による老の山公園の活性化･観光資源化！



価値創造型の官民連携（PPP/PFI)

価値創造型の官民連携（PPP/PFI）

・コストダウンよりむしろ「価値創造」に民間のノウハウを発揮してもらい、収入増の最大化を図り、結果的に公共の財政負担を縮減する。

